

# かわら版

No.59

事業所紹介

社会福祉法人春風会 もくせい苑

企業紹介

遠州鉄道株式会社

FE



Instagram



## 工賃支援課の活動



福産品を知っていただくため、様々な場所で販売会を開催しています(左:県庁 右:ぬくもり工房)



工賃支援課の主な役割は、静岡県県の平均工賃を上げる事です。令和3年度の平均工賃の実績は16,468円/月です。障害のある人が地域で自立した生活を送り、障害のある人との共生社会を実現するための目標として、30,000円/月を目指しています。

この目標を達成するため、私達は様々な活動をしています。地域の企業や団体の皆様のご協力により、下請作業や役務を障害福祉事業所に依頼するためのマッチングを行ったり、障害福祉事業所の自主製品である福産品の販路を見つけたたり、企業や団体に紹介しノベルティに採用していただいたり、販売会を開催していただけるよう交渉しています。

また、工賃向上に繋がる福産品の製品改良に関わる研修を開催し、素材や品質、パッケージなど、多くの人に福産品の良さを実感していただき、より購入意欲が湧く製品をお届けできるよう努めています。



昨年度の製品改良支援の様子

「障害者優先調達推進法」では、国や地方自治体が率先して障害福祉事業所からの物品等の調達を推進するよう、必要な措置を講じることが定められています。オールしずおかベクトルコミュニケーションでは、静岡県等からの発注内容を対応可能な複数の障害福祉事業所に斡旋・仲介する業務(共同窓口)を担っており、工賃支援課の主な業務となっています。

障害のある人・福祉について、少しでも皆さんが身近に感じていただき、共生社会に繋がるよう、日々活動しています。

## 農業と福祉の連携

今後とも農福連携に関しては幅広く考え、様々な講義を開催していく所存です。

この講義によって障害福祉事業所が今まで以上に農業との関わりが深くなったかを検証し、それを他の事業所へ紹介することで研修への参加事業所を増やし、農福連携を推進していきたいと思っています。

次回は農業と福祉のマッチングについて、ご紹介いたします。お楽しみに!

### 農福連携ワンストップ窓口

農福連携課の主な業務としては、

- 1 農業技術向上等に向けた研修(講義)
- 2 農業技術向上等に向けた研修(実践型)
- 3 農業技術向上個別支援
- 4 農福マルシェの開催
- 5 ふじのくに福産品の6次産業化(製品)
- 6 ふじのくに福産品の6次産業化(販売)
- 7 農業者と障害福祉事業所のマッチング等があります。

今回は1の講義についてご紹介させていただきます。

この講義は、障害福祉事業所が農業技術向上支援に向けた基礎知識や仕組み、6次産業化を目指す目的で行います。

講義の例として、

長野県セルブセンタ協議会沖村さやか氏による  
 【農業と福祉のCross over(融合)から生れるもの】  
 農福連携技術支援者鳥居嗣代氏による  
 【農業と福祉のWin-Winな関係を目指す農福連携のマッチング】  
 マーケティングアドバイザー宮口巧氏による  
 【6次産業化から農福連携事業へ】等、様々な観点から講演を行い、受講いただいています。

基本的には、対面での研修ですが、コロナ禍ではZoomを用いて、ハイブリットで開催しました。平日の午後から2時間と長時間にも関わらず、毎回多くの方々に参加していただいております。



「6次産業化から農福連携等事業へ」



「商品企画からの商品開発へ」



農家と障害福祉事業所の共同作業による、みかんの収穫

## 事業所紹介

# 社会福祉法人春風会

# 就労継続支援B型事業所もくせい苑

伊豆の国市田京1258-47



男性は下請け作業、女性は縫製作業を主に行っています



お話を伺った  
山田施設長

平成17年4月開所 現在27名の利用者が通所しています

もくせい苑は、下請作業と縫製作業をメインに、地域の企業や団体と連携をして活動しています。下請作業は資源回収の仕事が多く、ダンボールや新聞、牛乳パックなどの紙類を回収したり、アルミ缶やペットボトルのキャップの分別作業も行っています。アルミ缶は、コロナ禍で家飲みが増えた時に大量に回収する事になり、大変な作業でしたが、大きな利益が生まれました。ペットボトルのキャップは、白いキャップと色がついたキャップに分別することで、再生する業者に買い取ってもらえるので、重要な仕事の一つです。

また、施設の隣にある農園では野菜を作り、沢山の野菜を収穫しています。とうもろこし、ネギ、自然薯、白菜、カブ、キャベツなど種類も豊富です。春先から利用者さんが種をまいてくれるので、今から収穫が楽しみです。

その他、施設外就労にも力を入れています。近隣にあるサイクルスポーツセンターのレストランで、下げ膳と皿洗いをしています。夏休みなどの長期の休みや土日祝日は可能な範囲で行っています。

## 地域に根付いた活動で繋いだ企業・団体と確かな絆

当初なかなかスムーズに仕事ができなかったある利用者さんに、何かできることはないかと探していた時、彼のお母さんから以前、絵を習っていたと聞いたことを思い出しました。見本を見せて、これを描いてみてとサインペンと紙を渡したら、元の絵と全然違う可愛い個人的な絵を描いてくれました。これを、他の利用者さんが縫製したバッグなどにプリントしてみようという事になり、商品化したところ、人気商品になりました。企業から巾着袋や、エコバッグなどにプリントして、ノベルティにしたい、というご要望もいただいています。

令和元年8月には、伊豆の国市とセブインレブンが包括連携協定を結んだ際に、もくせい苑も協力して、お弁当が入るマチが大きなエコバッグを作成しました。その際も、彼のイラストを採用していただきました。

たくさん作品が出来上がる中で、彼のお母さんから絵にサインを付けては、と提案があり、名前の「鉄兵」から鉄の元素記号Feを付けることになりました。今ではFeブランドとして有名になりました。



Feと鉄兵さんの作品はどれも味があります  
(上:原画 下:プリントされた状態)



かわいい!と人気のFeブランドのトートバッグ



大好評の出張販売!主に高齢者に活用していただいています

かわら版の表紙はFe画伯です♪

サービス管理責任者 加藤さん



最近では地域貢献として、高齢化率の高い地域に、野菜やパン・お総菜などを事業者から持って行き、利用者さんと一緒に販売しています。利用者さんが行く事によって、障がいのある人に対するご理解をいただいています。「今日は〇〇さんいないの?」と聞かれることもあります。

「伊豆の国市も、もくせい苑の活動に理解があり、福産品の販売を市役所でも行えています。同じ地域の多くの企業や団体の協力をいただき、本当にありがたいことです。」(山田さん談)

もくせい苑は、地域との共存を見事に実施しながら、工賃を上げるために様々な作業を行っています。また、利用者さんの個性も尊重することで、鉄兵さんのようにアートの才能を発揮できる人を見出しています。これも、職員一人一人が常に利用者さんに向き合っていることだと思われれます。

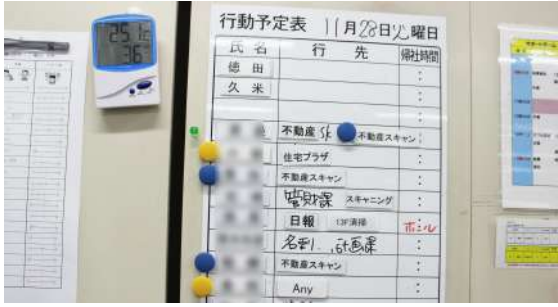
今後、利用者さんのモチベーションUPと、工賃の向上が大いに期待できる事業所です。

# 企業紹介 遠州鉄道株式会社

浜松市中央区旭町12-1



業務サポートご担当者 徳田さん、久米さん



行動予定表で前日に仕事の内容を確認!



メンバーの体調等を把握するために『セルフチェックシート』は欠かせません。

遠州鉄道株式会社は、昭和18年に創立し鉄道、バスなどの運輸事業の他、不動産、保険、介護等、地域の皆様の生活に密着した事業を展開しています。

今回は、障害者雇用の取り組みについて2015年に発足した業務サポートのご担当者徳田さん、久米さんにお話を伺いました。現在、遠州鉄道には39名の障害者が在籍し、そのうち半分の20名が業務サポートに所属しています。久米さんが、この部署に異動したばかりの頃は、仕事もあまり無く、知識もなく、大変なことが多かったそうです。

朝礼が終わると久米さんの前に、「今日は何をしますか?」と尋ねるメンバーの列が出来ている状態で、色んな部署を走り回り、仕事をかき集めて、指示をしていました。一通り指示が終わるころには、最初に指示した人の仕事が終わっている状況で、とにかく毎日仕事を集めるので精一杯という厳しい時がありました。

現在は、行動予定表で事前に予定を決めておくことで、朝礼終了後には、皆すぐ仕事に取り掛かります。予定が変更することも多々ありますが、メンバーも随分と成長したので、臨機応変に対応してくれるようになりました。仕事の範囲は広がって、遠鉄ストアや遠鉄建設など、グループ会社の仕事も増えています。

## 全国アビリンピック6年連続出場者も!

過去のメンバーの中には、会社の近くまで来ていても、「体調が悪いのですが、今日はどうしたらいいですか?」と連絡してくる人や、休みがちの人も多く、はじめはどのように接して良いかも分かりませんでした。そこで、メンバーのことをより理解するために、『個別支援シート』を作成し、通院や服薬、配慮してほしいこと等、詳細に書き出してもらいました。その結果、メンバーは自分のことを、私達にもっと知って欲しいと思っているのだと気づいたそうです。

また、『セルフチェックシート』を作成し、出勤時に体調や服薬状況を記入してもらうことで、自身の体調管理に役立ててもらっています。これらのツールを確認することで、メンバーがより働きやすく、安心して就業できるようになりました。

徳田さんと久米さんは、最初の頃は仕事がなく困ることが多かったですが、メンバーの日々の仕事ぶりが社内各部署に知られ、「早い・正確・綺麗」と高く評価され、今は無くてはならない戦力になったことがとてもうれしいそうです。



丁寧な仕事、と定評があります



## メンバーの松井さんをピックアップ!



全国アビリンピックワード・プロセッサで銅メダルを受賞した松井 謙太郎さん。遠鉄グループ保育園の子ども達に大人気のサンタさんでもあるんです♪



感謝の気持ちを表す39(サンキュー)カード

遠州鉄道は、令和3年度障害者雇用優良事業所『県知事褒賞』を受賞、静岡県障害者就労応援団にも登録されています。

浜松を代表する会社として、このように障害者雇用に積極的に取り組む、経営方針にある、CSRを実践し、社会に多大な貢献をしている遠州鉄道は、障害者雇用のモデルとなる企業と言えるでしょう。

就労支援課からのご案内

【障害者雇用推進コーディネーターにご相談ください】  
 オールしずおかベストコミュニケーションでは、静岡県から「令和5年度障害者雇用企業支援事業」を受託、県内3地区、計13名(東部4名、中部4名、西部5名)の雇用推進コーディネーターが企業を訪問。企業が障害者雇用を進める際の業務の切りだし、受入体制整備作りの助言やマッチング支援等をハローワーク、障害者就業・生活支援センター、障害福祉事業所、特別支援学校等の支援機関や県ジョブコーチと連携し行っています。

【安定した就労ができる環境づくり】

障害者雇用に取り組む企業の話が直接聞ける貴重な機会、静岡県主催「障害者雇用促進セミナー」及び企業見学会「障害者雇用の現場に学ぶ」(共催/静岡労働局)と「企業担当者の定着支援スキルアップ研修」(共催/静岡労働局、静岡障害者職業センター)。これらの運営を当法人が受託。開催にあたっては、当法人のホームページに掲載するとともに、コーディネーターが企業を訪問する中で、企業の皆様に開催を周知しています。

令和5年度のセミナー&見学会(全3回)では、製造業として県内初「障害者雇用優良中小事業主認定(通称・もにす認定)」企業の株式会社フカサワをはじめ、日軽金オオリス株式会社や株式会社一条工務店が登壇。スキルアップ研修(全3回)では、企業の事例紹介(東部・富士センター・運輸株式会社、中部・静岡給食協同組合、西部・ヤマハモーター・MIRRAI株式会社)と、専門家によるセミナー、参加企業同士のグループワークを実施。トータル3時間20分という長丁場に関わらず、多くの企業担当の方々に参加していただきました。

障害のある人が活き活きと働き、企業の構成員となれるようコーディネーター達は日々活動を続けています。

「障害者雇用促進セミナー及び企業見学会～障害者雇用の現場に学ぶ～」のチラシ

静岡県障害者文化芸術活動支援センター

みらーと

「静岡県障害者文化芸術活動支援センターみらーと」は、障害のある人の文化芸術活動の普及を通して、障害のある人の社会参加と障害や障害のある人に対する県民の理解促進を図ることを目的として、静岡県からの委託を受け平成30年9月に開設されました。

中部(静岡市)、東部(沼津市)、西部(浜松市)に拠点をもち、アート制作など文化芸術活動に取り組む障害のある人や支援者、障害福祉事業所等からの相談を日々受け付けています。

相談を元に、新たな作家や作品の調査・発掘を行い、ギャラリーや病院、公共施設でのアート作品展示会開催や、ワークショップ、オープンアトリエの実施、支援人材を育成するためのセミナーを開催するなど、県内全域で幅広く活動しています。また、恒例となっている舞台発表会「Look@me!」では、ファッションショーや演劇に挑戦し、障害のある人の芸術表現の可能性を追求してきました。



上:静岡県文化芸術大学 展示会の様子  
 下:今年度のLook@me!の様子



富士市の吉原つくいで開催したオープンアトリエ

今年度のLook@me!は「銀河鉄道の夜」を劇と歌、ダンスでパフォーマンスしたよ



近年では、障害のある人達のアート活動を支援するため、様々な団体と連携する事例も増えています。企業が中心となって企画された商業施設でのアート展開催や、ワークショップを通じて障害のある人と大学生との交流を図るなど、これらの取り組みを継続して実施しています。

「アートって良く分からないけど、何か一緒にやってみよう」「絵を描く事が大好きな利用者さんの事を知って欲しい」といういったご相談から始まり、生み出される作品や作者の魅力を発信しています。

# オールしずおかベストコミュニティのご案内

オールしずおかベストコミュニティは、障害のある人がいきいきと活躍できる共生社会の実現に向け活動する認定NPO法人です。ぜひ、私たちと一緒に活動しましょう。

**基本理念** 障害のある人の働く笑顔で、福祉と企業、地域の心をつなぎます

**事業目的** 障害のある人・その家族・それを支援する職員、企業や地域といった関係者全員を幸せにするユニバーサル社会を実現することを目的として設立されました



## 【業務執行体制】

- 総務部総務課
- 工賃支援部工賃支援課・・・地区センター長【東部(沼津市)、中部(静岡市)、西部(浜松市)各1名】  
福産品の販路拡大、下請け事業の紹介、CSR事業の支援、ヘルプマーク周知
- 工賃支援部農福連携課・・・農福連携コーディネーター【東西部(富士市)、東部(沼津市)、中部(静岡市)、西部(浜松市)各1名】  
農家と福祉のマッチング、農福連携の相談対応
- 就労支援課・・・・・・・雇用推進コーディネーター(東部、中部、西部 計13名)  
企業の障害者雇用の推進と取組を支援
- 障害者文化芸術活動支援センター みらーと  
支援コーディネーター【東部(沼津市)、中部(静岡市)、西部(浜松市)各1名】  
障害のある人の文化芸術活動の相談支援

## 会員数

現在会員数 421会員  
(令和5年12月末現在)

## 年会費のご案内

| 正会員   | 企業会員   |
|---|--|
| 10,000円   | 30,000円  |
| 社会福祉法人・特定非営利活動法人・社団法人・財団法人・医療法人・株式会社(福祉事業所)などの法人と一般個人 | 株式会社(福祉事業所を除く)・持ち分会社・信金・信組など金融機関、弁護士法人・税理士法人などの法人・団体と個人事業主の法人と一般個人 |

協力会員 一口 5,000円  
議決権はありませんが、当法人の活動に賛助していただける法人・団体・個人・個人事業主

## ●障害者働く幸せ創出センター

運営 認定特定非営利活動法人オールしずおかベストコミュニティ

開館時間 平日 9:00 ~ 18:00  
静岡市葵区呉服町2-1-5 5風来館 4階  
TEL 054-251-3515  
FAX 054-251-3516

### 東部地区センター

沼津市大手町1-1-3 沼津産業ビル1階  
TEL&FAX 055-963-9100

### 西部地区センター

浜松市中央区中央1-12-1 静岡県浜松総合庁舎10階  
TEL&FAX 053-458-7600

●障害者文化芸術活動支援センター みらーと  
障害者働く幸せ創出センターと各地区センターに併設(中部のみ電話・FAXが下記になります)  
TEL 054-251-3520 FAX 054-251-3516

## ●相談窓口 障害のある人の就労相談 企業の障害者雇用相談

### センター就労相談員による相談

受付時間 9:00 ~ 17:30  
TEL: 054-251-3553  
mail: kyujin@all-shizuoka.or.jp

※お電話・メールでも相談を承っております。

## ●障害者就業・生活支援センターさつき出張相談

相談 毎月第3金曜日 14:00 ~ 16:00

※ご来館の際は、お気軽にお電話にてご予約ください。

### 編集後記

1年ぶりのかわら版の発行です。編集を通じ、改めて、会員の皆様を始め、多くの方に当法人の活動は支えられていることを実感いたしました。今後も、タイムリーな情報を提供してまいりますので、よろしくお願いいたします。